

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)乙第 23 号	氏名	川村泰行
学位審査委員	主 査 齋藤俊行 副 査 原 宜興 副 査 村田比呂司		
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、歯科医院での長期間に渡るメンテナンス期間中における歯の喪失の要因を明らかにすることを目的としたもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 対象者は、特定の開業医を受診している者に限られているが、1989 年から 15 年以上に渡って長期間継続してメンテナンスを受診している全ケース 984 人から選択されている。また、年間喪失歯数を従属変数とした多変量解析を用いており、研究手法も統計処理も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、長期メンテナンス期間中における歯の喪失の要因を、ベースライン時の年齢で 40 歳未満と 40 歳以上に分けて、それぞれの違いを明らかにした。すなわち 40 歳未満では現在歯数と 4mm 以上の歯周ポケットが、40 歳以上では失活歯数、4mm 以上の歯周ポケット、糖尿病、喫煙の有無が要因として特定され、今後の歯科医療分野における臨床的応用が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は歯科医学に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（歯学）の学位に値するものと判断した。</p>			